

セルフモニタリング報告書(令和 5 年度分)

令和6年4月18日

施設名 沼ノ端交流センター(北栄児童センター)

指定管理者名 シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社

所管課名 健康こども部 青少年課

モニタリング項目	指定管理者 コメント	自己評価
1 事業計画の達成度		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	図書コーナーで計画を修正変更したイベントもありましたが、ほぼ計画通りの実施運営を行うことが出来ました。 その他法令設備点検等、仕様書に沿いながら第三者委託業者と綿密な打ち合わせのもと、実施出来ました。 また、北栄児童センターでは一部、内容変更したのもありましたが、ほぼ計画通りの実施運営ができました。来年度も、事業計画に沿った運営を行ってまいります。	A・ Ⓑ ・C・D・E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	沼ノ端交流センター貸館の累計利用者数はほぼ横ばいではありましたが、図書コーナー机増設の効果もあり勉強室利用者数が昨年度より 1,000 名増加となり、学生さんを中心に好評を頂いております。 毎年の恒例行事に育ったトピリカフェスティバルも参加者人数が 500 人となり、近隣の数団体から来年新たに参加したい等のお声がけももらっています。 北栄児童センターでは利用者数がさらに増え、自由来館による利用者（約 30,000 人）に、児童クラブ利用児童と貸館利用者を合わせると、延べ 51,000 人を上回りました。地域の子どもたちの居場所としての児童センターの機能を、高めることができた 1 年間でした。	Ⓐ ・B・C・D・E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか（目標値を設定していないその他の施設）。		A・B・ C ・D・E
自主事業は計画どおり行われたか。	令和5年度の自主事業計画は図書コーナーの計画を少し変更修正したものの概ね計画通り出来ました。レッドイーグルスさんにお声がけ頂き	A・ Ⓑ ・C・D・E

	アイスホッケー講座も２回実施することが出来好評頂きました。北栄児童センターでは一部、都合により開催できなかったものもありましたが、別のイベントを実施いたしました。日本ＣＣＳ調査（本社東京）による「子ども実験教室」など、コロナ禍前に児童センターで行っていたイベントも久しぶりに実施し、多くの利用者に楽しんで頂けました。	
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	地域交流活動の一環として、北栄町内会への縁日イベントの提案・実施等、徐々に連携を深めております。また国スポ開催を盛上げる為に、駐車場にキッチンカーを配備いたしました。微力ながら協力出来たのではと思います。 また手作りハンドメイドのイベントを地域の方々にご協力いただき出店し利用者の皆様に楽しんでもらえるよう、取り組みました。 北栄児童センターでは運営協議会を開催し、北栄町内会会長様をはじめ、多くの役員の皆様や、地域の主任児童委員とも連携しながら、運営を行うことが出来ました。	㊤・Ｂ・Ｃ・Ｄ・Ｅ
２．利用者の満足度		
利用者の満足が得られているか。	アンケートの結果交流で８５％の満足、図書で９３％の満足を得ることが出来ました。習い事や行事を増やして欲しいとの意見も有るので、次年度の課題としたいと思います。 児童センターでも満足の声を多くいただき、地域の子どもたちの居場所として、機能できていると感じております。	㊤・Ｂ・Ｃ・Ｄ・Ｅ
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	利用者のご意見・ご要望は各施設の受付カウンター前にご意見箱を設置し各担当者が日々確認し都度、館長に報告し対応しております。また、年２回のアンケート実施による意見の把握を行い、都度対応を行っています。	A・㊥・Ｃ・Ｄ・Ｅ
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	利用者からのご意見・ご要望・苦情は即座に対応しその後、青少年課の担当者に報告、事故等の重要案件は職員全員が周知出来る様にしております。利用者アンケートよりお声を頂いた、多目的ホールの机が少ないという意見をもとに、関係各所にご協力を頂き、座席を１０席増やす事が出来ました。その結果、勉強室利用者を年間約１０００名増やす事が出来ました。	㊤・Ｂ・Ｃ・Ｄ・Ｅ

3 管理運営の効率性		
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	電気・ガスの使用に伴う無駄を洗い出し、各セクションと協議の上削減してまいりましたが、屋上に大量の雪が積もり、雪解けに伴うドレン配管凍結防止の為に熱線の電源を 11 月後半から 3 月前半まで入れた為、冬場の電気使用量が増加してしまいましたが、消耗品等の使用については、必要最低限のものとして日々経費の低減を図っています。	A・㊦・C・D・E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	清掃・外観管理等を外部に委託しております。設備保守定期点検を再委託したため、経費は増えていますが、必要経費と考えております。 利用頻度の高い箇所は清掃回数を増やすなど職員で出来る清掃は自分たちで行うよう努力しております。	A・㊦・C・D・E
収入増加のための取組はされているか。	貸館収入につきましては、通年で利用されていた団体様 15 団体から 12 団体と 3 団体様が諸事情により利用を停止され、昨年度より一時期 15%ダウンとなりましたが、企業様への会議利用のお声がけやハンドメイドのイベント実施などの結果 8%ダウンまで復活してきました。これからも収入増加のための施策をうっていきたいと考えています。必要備品の貸出しや部屋の事前準備など、利用者の皆様に快適に利用して頂けるような工夫を行っています。	A・B・㊸・D・E
4 適正な管理運営		
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	入社時研修はエリアマネージャーが行い、別途職員全員に向けた個人情報取り扱いについてのテキストの読み合わせ及び筆記試験を実施。 また、年に 2 回の火災避難訓練など定期的に実施しております。 その他研修については、不足だった点は否めませんが、次年度以降、本社の動画研修などを積極的に活用し、能力向上に努めてまいります。	A・B・㊸・D・E
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	万が一事故が起きた時の対応方法・対処方法を全職員に周知しております。発生の危険性が高い児童センター内遊戯室においては、小学生来館時は必ず 2 名以上の職員を配置し危険予知をしながら見守り及び指導を行うことで事故防止に努めております。 図書・貸館についても、定期的な職員巡回を実施しております。	A・㊦・C・D・E

人員配置及び職員の管理体制は適正か。	管理体制は、児童センターはセンター長を中心に、最終責任者とし館長を配置しております。年度内に職員の増減はありましたが適正な管理体制を行っております。	◎・不適
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。	当館は北栄町内会の町内会会館も兼ねており、北栄町内会の会合や打ち合わせの使用時は減免対応になる為、年間スケジュールを町内会に提出して頂き管理しております。また苫小牧市教育支援センターとしてトピリカ学級を開設しておりますが、こちらも年間スケジュールを苫小牧市教育委員会に提出頂き管理しております。 今年度の還付処理はありませんでした。	◎・不適
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	弊社では全職員に対し、入社時に個人情報の講習を行っております。また会社全体でプライバシーマークを取得しており利用者の個人情報等適切に管理しております。 また、日頃利用する個人情報は、児童センター事務室内の鍵のかかるロッカーで管理・保管しております。	◎・不適
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	利用者からの施設利用料については交流センター管理室内で受け取り後、館長の確認・入金処理後、苫小牧営業所の事務担当が最終確認しております。多くの職員が管理することにより、不適切な会計処理が起きない様、努めております。	◎・不適
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	法定点検及び定期点検は仕様書を基に外部委託業者に依頼し全て適切に実行できました。点検後の修理なども、館長が業者に立会い、全て細かく説明を受け適切な内容で修理保全に努めております。	◎・不適
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	個人情報記載の書類はすべて鍵のかかるロッカーにて保管し、その他の書類も館長・センター長の管理の下、適切に管理しております。 備品等については定期的に見直しを行い、不必要なものは処分し安全性に問題がある備品があれば随時入れ替えを行っております。	◎・不適
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	全社共通の就業規則を元に職員研修を行い、全職員がコンプライアンスを重視した、管理・運営を行っております。	◎・不適

5 地域貢献		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	雇用に関しては全職員が苫小牧在住で、多くの職員が地元出身者です。資材の調達再委託も出来るだけ地元の業者を中心に行っております。 今年度はトピリカフェスティバルでウトナイ中学校の合唱部のステージ発表を行ってもらうなど地域に根差した活動を行う事が出来ました。 今後もさまざまな形で地域に貢献できるよう様々な意見を聞き形にしていきたいと考えております。	A・ B ・C・D・E

A: 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。

B: 目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。

C: 概ね目標、事業計画どおり行われおり、管理運営も適正で、特段問題は見られない。

D: 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。

E: 目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

自己評価 ★★★★★

(最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。)

指定管理者の自己評価(全体を通して)

新型コロナウイルスの影響は薄れ、コロナ前に実行していたイベントの復活や新たなイベントを実施することができました。トピリカフェスティバルではステージ発表 120 名、参加人数は 500 名のイベントとなり、来年に向けまだまだ参加者を増やせる手ごたえを感じることが出来ました。北栄児童センターでも、多くのイベントを実施させていただき、来館者数も更に増やすことができました。児童センターの年間の利用者は、自由来館（幼児と保護者、小・中・高生）が 30,000 人弱、放課後児童クラブが 11,000 人余り、貸館が 10,000 人余りで、合計 51,000 人を上回る数となりました。繰り返して利用したくなる雰囲気づくりや、満足していただける自主事業の企画など、来館者を増やす取り組みを行ったことで、定期的に利用したいと思っていただけるような施設運営を進めることができました。他にも図書コーナーで新たな取組によって来館者を増やし、地域に根差した施設運営が出来たと思っております。

以前から継続させて頂いているトピリカ学級やマイナンバー窓口など、市民の皆様にとっては喜ばれる声も聞こえ、利便性を高める事業を継続して行うことが出来たと思っております。

これも健康子ども部青少年課の方々をはじめ、多くの方々にご指導を頂いたおかげです。

今年度は、継続して契約いただいた初年度でありましたが、新たな契約の 2 年目以降も、今までの事業・取組を土台として、更に発展させていきたいと考えております。

今後も全国企業としてのノウハウを活かした取組や、地域に根差した活動を行い、児童センターを持つ複合施設として、幅広い年齢層が交流できる施策を模索しながら運営していこうと考えております。そのためにも、健康子ども部青少年課の皆様をはじめ、苫小牧市役所の皆様のお力添えを、何卒よろしくお願い申し上げます。